

スケジュール表 ※予告なく変更になる場合があります。予めご了承ください。

6月27日（水）

13:00~13:05	開会のあいさつ	近藤 格 (国立がん研究センター研究所 希少がん研究分野 分野長)
13:05~14:05	特別講演 1	● The advantages of the patient-derived orthotopic xenograft (PDOX) mouse models of cancer Robert M. Hoffman (Department of Surgery, UCSD AntiCancer Inc.)
14:05~14:25	展示/ポスター	
14:25~15:25	招待講演 1	● 患者由来がん培養細胞を用いた抗がん剤の評価 高木 基樹 (福島県立医科大学 医療・産業トランスレーショナルリサーチセンター)
15:25~15:45	テクニカルセミナー	ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社
15:45~16:05	展示/ポスター	
16:05~16:30	シンポジウム 1	● 多層オミックス情報のある腹膜再発がん患者腹水から樹立された124種のPDC (Patient-derived cell line) とその高い有用性 佐々木 博己 (国立がん研究センター・研究所FIOC 創薬標的・シース探索部門 先端医療開発センター (EPOC) バイオマーカー探索TR分野)
16:30~16:55		● 免疫不全マウスによる患者由来異種移植片(PDX)の作製と研究利用 宮城 洋平 (神奈川県立がんセンター臨床研究所がん分子病態/がん治療学部)
16:55~17:20		● Organoid culture of bile from advanced cancer patients and its clinical application 筆宝 義隆 (千葉県がんセンター)
17:20~17:45		● 患者由来腫瘍細胞を用いた三次元的癌組織の人為的創出 関根 圭輔 (横浜市立大学 医学部 臓器再生医学)
17:45~18:00	移動時間	
18:00~20:00	情報交換会	

6月28日（木）

9:00~10:00	招待講演 2	● 患者腫瘍移植モデル (Patient-derived tumor xenograft) の薬剤開発への活用 岡田 誠治 (熊本大学エイズ学研究センター・大学院医学教育部)
10:00~11:00	特別講演 2	● Using patient-derived tumor xenografts for drug discovery and to facilitate individualized cancer therapy Thomas Metz (Charles River Drug Discovery Research Services GmbH)
11:00~11:20	休憩 (時間調整)	
11:20~12:00	基調講演	● 臨床効果を予測するための薬物動態解析—動物からヒトへの外挿のために— 濱田 哲暢 (国立がん研究センター 分子薬理研究分野/薬効試験部門)
12:00~13:30	昼食 展示/ポスター	
13:30~14:30	招待講演 3	● CTOS/パネルを用いた薬剤感受性試験 井上 正宏 (京都大学大学院医学研究科 クリニカルバイオリソース研究開発講座 特定教授)
14:30~15:00	展示/ポスター	
15:00~16:00	招待講演 4	● 癌の鶏卵モデル：患者由来がんモデルとナノ治療開発系としての可能性 玉野井 冬彦 (京都大学、高等研究院 カリフォルニア大学ロサンゼルス校)
16:00~16:30	展示/ポスター	
16:30~16:55	シンポジウム 2	● 乳がんの三次元培養とPDXを用いたがん幹細胞制御機構解明のアプローチ 後藤 典子 (金沢大学がん進展制御研究所 分子病態研究分野 教授)
16:55~17:20		● がん臨床検体のスフェロイド培養系を用いたがん幹細胞増殖機構の解析及び抗がん剤奏功性検証への応用 岡本 康司 (国立がん研究センター研究所 がん分化制御解析分野 分野長)
17:20~17:45		● 希少がんの患者由来がんモデルの現状と課題 近藤 格 (国立がん研究センター研究所 希少がん研究分野 分野長)
17:45~17:55	閉会の辞	間野 博行 (国立がん研究センター研究所 研究所長)
17:55~18:00	閉会のあいさつ	近藤 格 (国立がん研究センター研究所 希少がん研究分野 分野長)